

KANAGAWA

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会

<https://www.j-kana.or.jp/>
email: info@j-kana.or.jp



3

March, 2021
vol. 431

コロナ禍にあっても立ち止まらない、止めない 私たちの仕事



Contents

建築探訪（近隣散歩）	01
会員仕事紹介（私の仕事）	03
支部だより（平塚支部—行政との協働・大和綾瀬支部—しごと展）	05
旅行記（モロッコ紀行）	07
委員会活動報告（災害時相談員勉強会）	09
編集者のつぶやき（金魚たち）	10

コロナ禍で近隣散歩にはまる ～金沢シーサイドタウン～

株式会社空間設計パートナーズ 有泉 絵美

Prologue

2020年は、代官山ヒルサイドテラス(楨総合計画事務所)で打合せをする機会が何回かあったが、コロナ禍ゆえ、毎回、代官山を散策(のみならずショッピングも)することなく事務所に直帰していたが、ある時、楨事務所の方にこのお話をしたら、「横浜にもヒルサイドテラスの雰囲気を感じるエリアがある」と教えて頂いた。そのエリアが金沢シーサイドタウンである。さっそく、近隣散歩と題して、シーサイドラインに乗り、並木北駅でぶらり途中下車の旅スタートとしたいが、予習をしてから！

Preparation

浅田孝氏・田村明氏により作成された調査報告書を基に、1965年、元横浜市長：飛鳥田一雄氏が提案を行った横浜市六大事業の一つに「金沢地先埋立事業」がある。当時の横浜は、関内・伊勢佐木町地区と横浜駅周辺地区が中心部となっていた。両地区の間にある桜木町には工場が多々あるので、中心部が二極化してしまっていた。そこで、この地区にある工場を移転することにより都市部を強化しよう、そして、工場移転先の住宅も確保して整備しようというのが「金沢地先埋立事業」である。

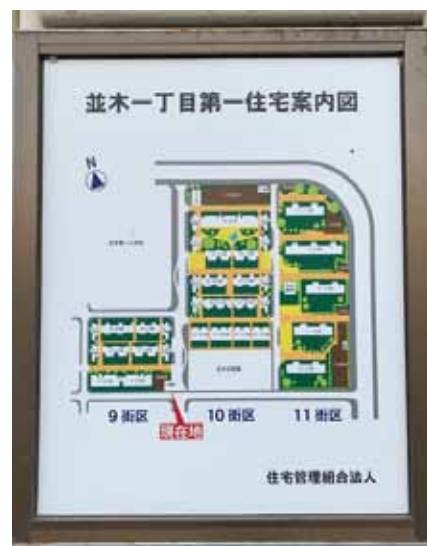
金沢地先埋立地住宅地計画のマスタートプランに基づいて、第一号住宅地の低層集合住宅の設計を楨総合計画事務所が行い、1978年に竣工。1978年の入居時に「金沢シーサイドタウン」と命名されている。

Walk around Kanazawa Seaside town

並木北駅で下車し、改札を背に右側へ進むと、線路と並行に緑地帯があり、この緑地帯と垂直にある階段を降りると大通りに面する。この大通りを渡ったところが金沢シーサイドタウンである。道路計画が直線ゆえ分かりやすいので、迷う事なく楨彦氏が計画された第1期エリアに到着した。エッジがシャープで楨氏らしいデザインの建物が見えてきたから、第1期エリアと分かったとも言える。

「低層住宅地区は公園的性格を持った大通りと通りに囲まれ、道に沿って配置されたヒューマンスケールの住棟やオープンスペースによって、表情豊かな街並みをつくり出している。」という設計コンセプト。大通りから1本中に入ると、歩車分離がされた通り、緑溢れる3階建住棟エリアと2階建住棟エリアが現れる。

「すごくいい！なんかほっとする。海外の住宅地にいる気分になる」というのが私の最初の感想である。前半は、住民の方々が愛着を持ってこのエリアを使いこなしているからこそ、今なお人間らしさが感じられることから出た感想、後半は、電柱が地上にないこと、40年以上前の建物なのに、モダンでシンプルだけとおしゃれな外観デザインや、2階建住棟には専用庭もあり、ゆっ





①通り



②路地



2階建住棟



3階建住棟

たりとした作りから出た感想である。

写真①は、エリア内にある通り。車も通れる幅は十分にあるが、歩行者専用。このスケール感も、海外にいる印象を与える。この通りに垂直に各エリアが配置されている。格子状なので、歩いていて迷うことはないが、2階建住棟エリアに入ると、写真②のような細い路地が出てくるため、歩いて行くとどこに着いてしまうの?と少し不安になるが、格子状の配置ゆえ、通りに辿り着く。

散歩は夕暮れ時だったため、夕飯の準備中なのか、美味しそうな香りがしてきたり、エリア内にある池や広場で遊ぶ子供達の声が聞こえてきたり・・・と、日本の昔ながらの住宅街にある路地を彷彿させ、ワクワク感や懐かしさ、コロナ禍のストレスも忘れられる。

このような、人間の生活感が感じられる素敵なまちで育った子供達は、榎文彦氏が設計された横浜市立並木第一小学校に通学できる。今回の散歩では、並木第一小学校は、外観のみだったが、窓から見える室内空間は、のびのびとした印象を受けた。このような空間を小さい頃から経験すると、感性豊かになり、発想力も優れた柔らかな頭になれるのではと、親目線での感想で溢れてしまった。

建築家目線での散歩のはずが、目線が変わるのも散歩の楽しみのひとつ。次回は、同じように団地しかない汐見台団地にある小学校が飯田義彦氏設計の小学校に変わるので、完成したら散歩を楽しもうと思う。

私の仕事（今までとこれから）

（株）西湘建設 川村 昇

皆さんこんにちは。

今回は小田原市を中心として県西地域で活動されている川村さんの仕事について紹介させていただきます。

Q；いままでいろいろと仕事をされてきたと思いますが、どのような仕事をされてきたのでしょうか。

A；私はだいたい施工の仕事をしておりまして、JR関係の駅舎・事務所・駅ビルの新築・改修、あるいはJRで管理している住宅であるアパート、JRを退職された方が住まわれる住宅の新築・改修を手掛けてきました。

Q；仕事を通じてどんな関係がありましたか？

A；JRという一つの大きな枠内での付き合いですので、たまたま行った現場に関係した人がいたり、その現場で知った人から住宅の改修を頼まれたりして、仕事をしてきました。人と人のつながりで仕事をいただけてきましたので、そのようなつながりはこれからも大切にしていきたいです。

Q；今の仕事とこれからの仕事について教えてください。

A；今は耐震診断・耐震改修設計、それに伴う住宅改修を中心に仕事をしています。そして、県西支部で行っている建築基準法第12条点検やブロック塀の耐震調査も行っています。どちらも人々に「安全」で、「安心」な生活を送ってもらう仕事だと思っています。

Q；耐震診断・耐震改修設計ではどういうことに気を付けていますか？

A；耐震診断・改修設計では在宅のまま作業することが多いので、生活に支障ないような改修方法を考えています。そして、依頼者にも、行政にも、自分自身にもしっかりと説明できる報告書を作っていきます。また、建物の安全だけでなく、住宅内のいろいろな設備（タンスとかテレビ等）も倒れたり、移動したりするので、それらをどのように固定するか、あるいは倒れても大丈夫な位置で生活できるようにするか、アドバイスしています。

Q；最後にどのようなことを目指していますか？

A；12条点検やブロック塀調査、耐震診断などの調査・改修を通じて、生活するうえで欠かせない「安全」と「安心」を皆さんに伝えていきたいです。「地震」などの災害はいつ、どこで起こるかわかりません。日ごろから気を付けてそのような現象から身を守る対処法を伝えていきます。

我々の仕事は災害に直結しています。これからもいろいろ注意しながら、使い勝手の良い大切な住宅・施設を守り、自分自身を含めた人命を守っていきます。「いくぞー。オー」





筋違の厚み確認（耐震改修）



筋違金物確認（耐震改修）



筋違と金物の取付（耐震改修）



換気扇の風量調査（12条点検）



ブロック塀亀裂調査（ブロック塀調査）



ブロック塀の勾配調査（ブロック塀調査）

平塚支部紹介

平塚支部は平塚市、大磯町、二宮町と協働してコロナ禍でも住宅耐震相談、空家対策相談等を行っています。平塚市は9月までは耐震相談会が開催できませんでしたが、コロナ感染防止対策をとっての耐震相談会を10月から12月まで計3回開催し、平塚支部より延べ15名の相談員を派遣いたしました。大磯町では予約をとっての相談会にして三密をさけたり、二宮町では予約した家に町職員とこちらから出かける出前相談会にしたりと工夫をして行っています。

12月19(土)20日(日)には「建築士のしごと展2020」をひらつか市民プラザで開催しました。平塚市との協働の住宅耐震相談会を同時開催することで、しごと展に平塚市の後援を得ることができ、ひらつか広報に掲載することができました。

二宮町とは地域老人施設5棟（木造）の耐震診断を平塚支部で受注、希望者を募り9名で実施し12月28日に成果品を納めました。同一建物を数人で耐震診断することで、他の人のやり方、見方

平塚支部長 黒部設計事務所 黒部 光司

がお互いに参考になり今後に活きる取り組みでもありました。

平塚支部でも納涼会、忘年会は開催を見送り、会員同士顔を見ることが少なくなりましたので、zoom支部役員会の通知を会員全員に送り、zoom役員会&支部会として誰でも参加できるようにしています。1月の会では平塚支部で省エネに対する講習会を開けないかが議題に上り、思案しているこの頃です。



二宮町役場



大磯町役場



しごと展



しごと展



平塚市役所

モロッコ紀行

コロナ禍の影響で旅行もままならず、また、歳を重ねると過去の旅行を思い出しては感慨にふける中、今回、若かりし頃の旅行を寄稿します。

学生時代より、現代建築はもちろん集住にも関心があり、特にB・ルドルフスキー著の「建築家なしの建築」や原広司著の「住居集合論」に出てくるバナナキュラーな建築群をいつかは見てみたいと憧れを抱き、また、1985年発行「SD8506 モロッコ、スペイン、ポルトガル〈いえ〉と〈まち〉調査紀行」（鈴木成文を団長とした集住界では権威のある先生たちの紀行文）に触発され、モロッコへの旅となりました。

もともと、地中海沿岸のイスラム系の建物には興味があり、当時のポストモダニズムの流行のなか、設計課題でもモスクを汎用したようなデザインを立案したりしましたが、いざ現地の生活居住地に入ってみると、すべてが異文化。文章では表現しきれないので、モロッコを舞台とした映画、ベルナルド・ベルトリッチ監督の「シェルタリングスカイ」や役所広司、菊地凛子出演の「バベル」を見ていただければモロッコ・ベルベル人の生活感が体験できるのではないかと思います。



旅のキッカケとスケッチ



パリから2日間電車で一緒だったモロッコ人親子

(株) アスデック建築事務所 小泉 厚

雪が降る2月末の夕刻、ロンドン・ヒースロー空港に到着。ロジャースのロイズビルはまだ建設中で、ピカデリーサーカスで食事を早々と済ませ、早朝のドーバー海峡横断そして2日かけてスペインを電車で南下し、アルヘシラスへ到着。目の前はジブラルタル海峡、2時間フェリーに乗ればアフリカ大陸ということで、周囲はいろいろな視線、言葉、体臭が入り乱れ、警戒心と共に気持ちが昂り高揚していく様子ははっきりと感じ取れました。対岸はモロッコのタンジェ、初のアフリカ上陸。

この先、旅では日常となるのだが、一日5回流れるコーランの祈り、街全体に鳴り響き、人々が祈りをささげる姿に信仰の深さを身をもって感じさせられました。

また、旧市街における迷路や何処かで監視されているのではという不安感等すべてが経験したことのない初めての体験、気持ちの整理がつかぬ間にこれからモロッコ3週間の旅へ。

今回の旅の目的は・集落見学・旧市街散策・市場見学と割り切り、新市街や現代建築は次の機会との姿勢で臨みました。ちなみに写真は35年前です。画質の方はご了承下さい。

旅行のルートはタンジェ⇒首都ラバト⇒カサブランカ経由マラケッシュ⇒カスバ街道(ワルザザート、アイト・ベン・ハッドゥー、ティネリール、エルラシディア、エルフード)⇒メクネス⇒フェズ⇒タンジェ ということで写真にて旅の雰囲気を味わっていただければと思います。



マラケッシュ ジャマ・エル・フナ広場



マラケッシュ スーク(商店街) 光と影



バスから見たワルザード近郊の集落



カスバ街道のキャラバンサライ



ティネリールの集落



エルラシディア近郊の町 お祭りの時、財力としての絨毯を自慢する。



ティネリールの集落散策



ムーレイドリス旧市街



ティネリールの集落内の小さなモスク



フェズ旧市街
カラウィーンモスク入口



ティネリールの女性たち



フェズ旧市街のなめし皮工場

委員会活動報告

「災害時相談員のための勉強会（４回シリーズ）」実施報告

業務支援委員会委員長 永島 優子（川崎支部 有限会社ノマド）

昨年8月から10月にかけて、標記勉強会を4回シリーズにて実施しましたので、合同委員会を代表して、下記のとおり報告させていただきます。

○勉強会企画の背景

- ・2019年台風19号は、首都近郊において、甚大な被害をもたらしました。
- ・神奈川県より神事協に、被災者の建築相談に対応する相談員を派遣するよう依頼があり、川崎市、相模原市、箱根町に相談窓口が設置され、各支部の会員が、相談員として配備されました。
- ・急な要請のためか、相談員の確保が難しかったことなどの反省点もあったため、相談員の確保やスキルアップを目的とした本勉強会を企画するに至りました。

○合同委員会による企画

- ・本勉強会は、小林担当副会長、指導委員会 山口委員長、ブロック支部委員会 谷田委員長、業務支援委員会の永島の3委員会の合同企画で開催しました。
- ・指導委員会の提案に、ブロック支部、業務支援それぞれの委員会が、賛同し、協力体制をつくりました。

○4回シリーズ勉強会

内容と講師は、以下の通りです。

回	月 日	講 義	内 容	講 師
1	8月28日（金）	1. 総論 1	「神事協の相談体制」	小林副会長
		2. 総論 2	「相談アドバイザー留意点」	永島業務支援委員長
		3. 総論 3	「災害に係る住家の被害認定基準運用指針の概要」	棕参与・指導委員会
2	9月7日（月）	4. 各論 1	「地震による被害」	棕参与・指導委員会
3	9月28日（月）	5. 各論 2	「水害による被害」	棕参与・指導委員会
		6. 各論 3	「風害による被害」	
		7. 各論 4	「液状化等の地盤被害による被害」	
4	10月22日（木）	8. 各論 5	「災害に係る住家の被害認定基準運用指針の概要」	永島業務支援委員長

- ・テキスト作成は、各講師が担当しました。
- ・特に、棕委員には、膨大な資料を作成いただき、ご尽力をいただきました。

○今後の課題

- ・本勉強会を企画検討する中で、他団体との連携の必要性を強く感じました。
- ・実際に、神奈川県建築士会防災委員会との合同打合せも行い、日本建築家協会（JIA）、かながわ住まいまちづくり協会にも、勉強会のご案内をさせていただきました。
- ・さらに、他士業との連携を検討していきたいと思います。

○今後の予定

- ・本勉強会は、今後もシリーズを続けていく予定です。
- ・今回の勉強会は、発災後に関する内容でしたが、減災、予防をテーマにしたものも、企画したいと考えています。
- ・賛助会との合同企画も、検討中です。
- ・2月9日に開催されたマンション等の大規模修繕業務特別委員会主催の「マンションの防災～水害への備え」は、まさにその流れを汲んだ研修会テーマでした。
- ・現在、勉強会受講者の名簿を作成中です。この名簿は、各市町村に、神事協の、災害に対する取り組みや姿勢を紹介するために、各支部でご活用いただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○追伸

- ・2月13日午後11時 福島・宮城において、震度6強の強い地震がありました。
- ・災害は、待ってくれません。あらためて、勉強会の意義を、神事協会員として、皆様と一緒に、考えていこうと思います。

新入会員のご紹介

1月入会者

川崎支部

ヒットデザイン建築設計事務所 辻 瞳
〒216-0003川崎市宮前区有馬1-19-8
TEL.044-852-4355/FAX.044-852-4355

福山産業株式会社 二級建築士事務所 福山 友和
〒213-0022川崎市高津区千年610-5
TEL.044-740-6692/FAX.044-740-6693

一級建築士事務所 神田剛建築設計事務所 神田 剛
〒216-0005川崎市宮前区土橋1-8-2-B311
TEL.090-4363-0739

2月入会者

横浜支部

O+Solution 黒岩 武文
〒221-0063横浜市神奈川区立町6-5 ロワール東白楽801
TEL.045-431-5200

川崎支部

建築構想企画設計連合 高野 治
〒216-0004川崎市宮前区鷺沼2-17-3-205
TEL.044-789-5111

横須賀支部

アトリエTA建築設計事務所二級建築士事務所 高橋 大介
〒238-0031横須賀市衣笠栄町4-28-16
TEL.046-804-8707/FAX.045-319-4975

湘南三浦支部

an農建築設計一級建築士事務所 天羽 圭
〒249-0008逗子市小坪4-27-8
TEL.0467-23-9150/FAX.0467-23-9150

退会者

横浜支部

有限会社acaa建築研究所 岸本 和彦
O+Solution 黒岩 武文
株式会社耐震防災一級建築士事務所 佐藤 智洋

相模原支部

アース建築株式会社一級建築士事務所 佐藤 寅蔵
有限会社創夢設計 伊佐 俊彦

県西支部

志村建築設計事務所 志村 光雄

変更

横須賀支部

武藤二級建築士事務所
(事務所所在地、TEL、FAX変更)
〒238-0052横須賀市佐野町6-24
TEL.046-852-7770/FAX.046-845-5231

鎌倉支部

アトリエ空庵
(事務所所在地、TEL変更)
〒248-0013鎌倉市材木座5-10-45
TEL.0467-22-6617

会 勢

		令和3年2月15日現在				
支部名	令和2年4月1日	現在	入会者	退会者	増減	
横 浜	255	250	10	15	-5	
川 崎	104	106	5	3	2	
横 須 賀	51	54	3	0	3	
湘 南 三 浦	16	17	1	0	1	
藤 沢	34	34	0	0	0	
鎌 倉	40	39	1	2	-1	
茅ヶ崎寒川	16	16	0	0	0	
平 塚	23	23	0	0	0	
秦 野	14	14	0	0	0	
伊 勢 原	6	6	0	0	0	
大和綾瀬	19	19	0	0	0	
厚 木	28	29	1	0	1	
座 間	13	13	0	0	0	
海 老 名	16	16	0	0	0	
愛 川	6	6	0	0	0	
相 模 原	65	64	1	2	-1	
県 西	40	39	1	2	-1	
合 計	746	745	23	24	-1	
賛助会員	104	104	0	0	0	

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。※入会者、退会者には支部間の異動も含まれます。

編集者のつぶやき

2021年1月7日、新型コロナウイルス対策で2回目となる「緊急事態宣言」が神奈川県を含めた1都3県に対して出されました。

皆様いかがお過ごしでしょうか。私の事務所では、2020年4月-5月に発出された1回目の宣言下で卵から生まれた金魚たちがすくすく育っています。三十匹ほどの金魚が水槽の中でぶつからず泳ぎまわり、夜はきちんと間隔をあけてじっとしている姿は、まるでソーシャルディスタンスを守っているかのよう。今の私たちの境遇に通じるものを感じてしまいます。器用にぶつからず泳ぐ金魚の体には、水の動きを察知する役割の側線があるからなのですが、ご飯を食いたいとダンスしている時は、全く機能していないようです。



(川崎支部 合同会社 春紫建築設計事務所 赤川真理)

KANAGAWA 令和3年3月号(通号431号)

発行 令和3年3月1日(奇数月1日発行)
 発行人 白井 勇
 発行所 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会
 〒231-0032 横浜市中区不老町3-12 加瀬ビル201 2F
 TEL. 045-228-0755/FAX. 045-212-3807
 印刷所 株式会社 柏苑社

担当副会長 大和田 優
 広報情報委員長 杉本 勝郎
 広報情報副委員長 加藤 一郎
 広報情報委員 雨森 隆子 有泉 絵美 赤川 真理
 小山 将史 中原 尚代
 小井口 英寿 仙波 弦
 事務局 久保田 千尋



今月の表紙

小田原駅東口再開発ビル 「ミナカ小田原」

地上14階＋地下1階の「タワー棟」と4階建ての「小田原新城下町」からなる複合商業施設で、「みらいの宿場町小田原づくり」をコンセプトにしているとのこと。小田原の新しい観光スポットとして期待されています。タワー棟の展望台は足湯もあり賑わっていました。



一般
社団法人

神奈川県建築士事務所協会

Kanagawa Architect Office Association